

# 令和5年度 北海道・東北 体育・保健体育ネットワーク研究会

## 山形さくらんぼラウンド報告

テーマを「**3つの資質・能力の関連を図った指導の具体**～学びに向かう力、人間性等との関連～」とし、佐藤豊先生、高橋修一先生の提言を元に、活発なグループワークがなされ、様々な気づきと学びの多い、研修となりました。今年度山形で開催される「第62回全国学校体育研究大会山形大会」へも弾みがつきました！以下新規メンバーの感想を御紹介いたします。

講義や演習を通して、保健・体育の授業の3つの資質・能力の関連や主体的に学習取り組む態度の指導についてモヤモヤしていたことがスッキリしました。3つの資質・能力は、単独で取り組むものではなく、1つの活動においても関わり合っているということを表(下)に示していただき、とてもわかりやすかったです。学んだことをこれからの体育の授業づくりに取り入れていきたいと思いました。【指導主事】

今回のような機会は私にとって学びの多い貴重な機会になりました。指導案を作ること自体あまり経験がなく、ワークでは自分から発言することがあまりできなかったのですが、他の先生方の意見や考え方を聞いて知識が広がったので、これからの授業作りに活かしていきたいと思います。【高校教員】



### 一単位時間の中での3つの資質・能力の関連を図る指導モデル (佐藤豊氏)

学習従事率の視点		・発育・発達 ・領域の特性 ・レディネス	・技能定着の日 ・思考・判断・表現中心の日 ・主体的に学習に取り組む態度	運動機会の効率化 発見、改善の保証 効果(楽しさ、技能、思・判・表)	実感+有用性		
展開	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
知識 ・説明 ・教え合い	はじめ	・前時までの確認 ・本時のめあて、ねらい ・準備運動	◎	意識ポイントの指示	開始、ルール確認	◎	OFF
	なか①	・動き作り ・本時の技能のポイント ・教師主導メニュー	◎	アドバイス キーワード化	グループ別 ペア	◎	OFF
技能 ・準備 動き作り ・主要(メイン)ゲーム	なか②	・ペア、グループ、課題別メニュー	◎	アドバイス	称賞	◎	OFF
	まとめ	・自己、他者評価口 ・教師まとめ	◎	兄弟チーム 気づかせたい視点、発問	役割行動 承認、称賞、振り返り	◎	OFF
思考・判断・表現	・課題発見 ・指摘する						OFF
主体的に学習に取り組む態度	・教え合い(協力) ・責任学習 ・安全						OFF

※上記を事前に学習し、訓練しておくことで無駄な時間が減少。

今回の研究会で一番学びになったことは、学習指導要領解説の文章の読み取り方、学習指導要領の構成についてです。学習指導要領が授業作りの大元であり、これに沿って行くと理解していても、実際どのように読み取ってよいのか、授業計画へどう反映させればよいのか分かりませんでした。その部分を具体的に教えていただいたことで、学習指導要領の見方を理解することが出来ました。【学生】

今回のサクラんぼラウンドに参加させていただいて、大きな学びがありました。以前より保体の授業において、自身の態度の評価に曖昧さを感じていましたが、今回その点を重点的に扱っていただけたことは非常に感謝しております。生徒に対して、どのような態度を評価するのかを提示すること、また授業内での変化をみとることの重要性を理解しました。今後の授業で積極的に取り入れていきたいです。貴重な機会をいただきありがとうございました。【中学校教員】